

◆◆「新しい川崎」メール版◆◆

—2024年12月17日第155号—

<目次>

●川崎市社保協が第31回定期総会を開催

◆学校給食の無償化を求め、2万筆超える署名を提出

▲お知らせコーナー

①「新たなミュージアムに関する基本計画(案)」への市民意見の募集中

②新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針(案)に関する意見募集中

③12/20「聞こえの相談会」

④12/22 第30回記念・合唱団いちばん星コンサート

⑤1/10 川崎労連旗開き

★編集後記

●川崎市社保協が第31回定期総会を開催

誰ひとり取り残さない社会を築く、社会保障の確立を！

川崎市社保協は11月29日、かわさきゆめホールで、第31回定期総会を開催しました。

総会には ZOOM 視聴も含め11団体45名の参加がありました。

代表委員・川連の青木博章さんによる開会のあいさつに続いて、記念講演として「総選挙の結果と社会保障 運動」と題して、日本医療総合研究所の寺尾正之先生に お話しいただきました。

先生の話は「与党の過半数割れ」の中で、今後「新しい政治をつくりたい」という 民意を進めるかどうか問われる中、人権としての社会保障の確立を、次世代に安心な社会を受け渡そう、一人ひとりが個人として尊重される「多様で公正な社会」をつくる社会保障運動をすすめる私たちに示唆を与えるものとなりました。

<川崎市社保協の活動方針と体制>

講演の後、光野事務局長が活動報告と今後の活動方針の提起を行い、医療生協、神奈川土建、民商、新婦人、年金者組合、生活と健康を守る会、福祉保育労、川崎労連など8団体から、自らの活動報告を含め、社保協が進める「マイナ保険証」をめぐる宣伝行動や倉敷弾圧事件、学校給食無償化の取り組み、年金裁判、生存権裁判などについての発言がありました。

今後の活動は、川崎市社保協の重点6項目が提案され、可決されました。6項目は以下です。

- ①国保料金引き上げ反対
- ②介護保険を「誰もが払える保険料」「使いやすい介護保険」を目指すこと
- ③子育て支援として子ども医療費の一部負担金撤廃、学校給食無料化、教職員の抜本的増員を求める
- ④高齢者の外出支援、補聴器助成制度の創設、⑤特定検診に聴覚検査を求める
- ⑥最低賃金を中小企業への賃上げ支援とあわせて、全国どこでも1500円にすること

続いて、川崎市社保協の役員、幹事の選出を行い、閉会となりました。

◆学校給食の無償化を求め、2万筆超える署名を提出

12月16日、学校給食の無償化を求める川崎市民の会は、これまでの最高となる23,227筆の署名を川崎市議会議長に提出しました。

合わせて、ネット署名 4,615名分も提出をしました。署名提出後、共同代表を中心に、記者会見も行いました。

<2万筆超目標を達成できたのはなぜ？>

「学校給食の無償化を求める市民の会」は、6月23日のスタート集会の参加者90名の総意で結成しました。

川崎市でも学校給食費の無償化を実現する。この一点で一致する市民、団体と共同し、幅広い運動を追求してきました。

この間、子育て現役世代が共同代表となり運動をけん引し、シニア世代が経験を活かし支えてきました。

スタート集会では、半信半疑だった2万筆目標を突破することができたのは、「川崎の子どもたちに、安心しておいしい給食を食べさせよう。」の一点での共同のたまものです。

市内の各所での署名活動には、大きな賛同が寄せられました。

<市民の声は、値上げでなく無償化です！>

川崎市教委は、来年4月からの給食費値上げについて保護者アンケートの結果を大きな根拠としています。

結果は、「値上げはやむを得ない」50.9%。どちらかといえば値上げはやむを得ない」34.4%。合計で85.5%になっています。

しかし、このアンケートは値上げへの誘導的なものなのです。

アンケートでの給食費についての質問は、「学校給食の質を将来にわたって維持していくために給食費の値上げを検討しています。

このことについてどう思いますか。」となっています。「学校給食の質を維持するためには値上げしかない、もし値上げしなければ、おいしい給食の質の維持はできない」、と値上げに誘導しています。

その結果が、85.5%の「値上げはやむを得ない」回答になったのです。

しかし、学校給食の質を維持するためには、他の選択肢があります。

別案① 今年度川崎市が実施したように、値上がり分を市の予算で支出する。

別案② 他の3割の自治体のように学校給食を無償にする。

もし、保護者アンケートで、①値上げか、②市の予算で補うか、③無償化か、の3択で聞けば、当然その結果は全く違ったものになったと思います。

無償化の署名が5カ月の短期間で2万筆を超えたという事実が、保護者の声、市民の声を表しているのではないのでしょうか。

<市民の願い「多摩川格差」の解消を！>

今回の街頭での署名のなかでは、国が無償化すべきであり、自治体ごとに差があるべきではないとの意見も多くありました。

教育委員会、国が無償化すべきと答弁しています。

先月、私たちの会で実施した市議会議員アンケートでも、多くの議員がそう回答しています。

私たちが「国が学校給食を無償にすべきだ」と考えます。そして、その実現のためにも、川崎市が国に先駆けて、多くの自治体と同様に学校給食を無償にすることが大切なのだと思います。

そして、川崎市民を代表して、川崎市長と川崎市議会が、国に学校給食の無償化を強く求めてほしいと考えます。

陳情は、来年に審議されます。給食費の値上げをストップし、無償化への一歩となる審議を期待し、運動を続けていきたいと思っています。

学校給食の無償化を求める川崎市民の会 事務局

★お知らせコーナー

①「新たなミュージアムに関する基本計画(案)」への市民意見の募集中

*意見募集終了日 *令和6年(2024年)12月27日

詳しくはこちら→ <https://www.city.kawasaki.jp/250/page/0000169893.html>

②新百合ヶ丘駅周辺地区まちづくり方針(案)に関する意見募集中

*意見募集終了日 *令和7年(2025年)1月8日

[詳しくはこちら](#)

③「聞こえの相談会」

12/20(金)午前10時から、

かわさきゆめホール

連絡先 044(266)7532(社保協事務局)

④第30回記念・合唱団いちばん星コンサート

「つぎの、一歩へ。」

12/22(日)

13:30 開場・14:30 開演

多摩市民館大ホール

指定席・1,500円

自由席・1,300円

子ども:障がい者・500円

お問い合わせ

090-4608-7782(高橋)

090-5425-5885(大原)

[公式サイト](#)

⑤川崎労連旗開き

2025/1/10(金)18時30分～20時30分

川崎市総合自治会館ホール(JR武蔵小杉駅から徒歩3分)

連絡先 川崎労連 044-211-5164

★編集後記

「〇〇の壁」

「〇〇の壁」が今、話題です。「〇〇の壁」は私たちの自由な行動に立ちはだかります。

「壁」の向こうに行くのは大変です。

ある日、突然、「壁」ができることもあります。

それまで自由にできたことが、この「壁」を超えるには「合法的な」手続きを経なければできなくなりました。

12月16日に、給食無償化を求める2万筆を超える陳情署名を議会局に提出し、そのことを早速、全会派の議員さんに伝えたいと思い、資料を用意しました。

ところが、各会派の控室に行くまでが大変だったのです。

突然、市民と市会議員の間に「壁」がつくられていたのです。

この「壁」は、新庁舎の中にあります。

旧庁舎の議会棟の時は、各会派の控室に直接、市民が出向くことができました。

議員さんがいなくても、会派の事務局の方に伝言を頼んで、今後の連絡をお願いすることもできました。

ある時は、どうしても、ある議員に会って話したいことがあり、控室の前でしばらく待つことで、お会いしたこともあります。

しかし、市民の税金470億円を使って作られた新川崎市役所と議会棟になって、突然、「壁」がつけられました。

この日、私たちは議員に資料を渡すために、まず22階の議会局でその旨を話し、自分の名前と用件を書きました。

すると、議会局の方が、議員控室に電話をし、名前と用件を伝え、了解をえます。

そこで、私たちは、入室許可の名札を受け取って控室のある23階に移動します。

そして、もう一度 23 階の守衛さんの横の電話で、議員控室に電話をすると、やっと、「開かずのドア」が開き、入室が可能になるのです。

なんと煩わしく、時間も手間もかかりました。

この時間の「壁」も大問題です。

市民の税金を使って作られた、市民と議員の間を隔てる「壁」は、いったい何のためなのでしょう。新庁舎になって自由に入出入りできる 25 階の展望室からの眺望は市民に人気です。

でも、地方自治の舞台である市議会や議員の姿は、市民の目から、すっかり遠くなってしまったと感じます。

この「壁」を壊すには、どうすればいいのでしょうか。(H)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆

配信を希望されない方は以下をクリックしてください。

自動的に登録を解除します。

https://my922p.com/User/cancel_mail/fMwwpqj4/C4eHoxm9wD4y?mail=talosxxx%40gmail.com

誤って登録解除した場合、以下までご連絡ください。

mailmag@newkawasaki.jp